



NPO 特定非営利活動法人

# 埼玉森林サポータークラブ コミュニケーション・ニュース

【令和7年4月1日 発行（季刊） VOL. 101】

## 「新年度の所感」会長 霜触 賢

日頃会員の皆様にはサポータークラブの活動にご協力とご理解をいただきありがとうございます。当クラブがNPO法人になってから今年で24年目を迎えます。多様な活動と大きな実績を持つ県内有数の森林ボランティア団体としてこれからも息の長い活動を続けていきたいと思っております。そのためにはクラブ員一人一人の参加意識が何よりも重要だと思えます。



### ①「全国植樹祭」の協賛参加

本県で66年ぶりに行われる第75回「全国植樹祭」に協賛活動をいたします。主に全国からの参加者の記念植樹のサポートをいたします。2013年の熊谷での「全国育樹祭」の支援活動に続き、クラブの活動の歴史に大きな足跡を残すものと思えます。率先して参加していただいたクラブ員の方々に感謝申し上げます。参加が出来なかった方々もこれからのクラブニュースや報道に注目してください。

### ②「クラブの現状」について

日本中どこを見ても高齢化社会です。当クラブも御多分にもれません。いまのところ会員数それ自体はほぼ横ばいか、もしくは微減状態ではありますが、先行きはわかりません。各フィールドに参加するメンバーは大体同じような顔ぶれです。逆に高齢や体調の具合、自己都合により退会をする方々もおられます。これはこれで個人の自由意思で参加している以上しかたのないことではあります。山の保全是継続が求められる地道な作業です。その時その時の現有勢力でやれることを、やれる範囲で継続して行く、この覚悟を持つことが一番大切なことだと思います。もちろん「ホームページの充実」「イベ

ントでのPR活動」「ロコミ」などで新人勧誘を地道に続けていくことは必要なことです。世話役やベテラン会員の方は新規入会者や活動の浅い会員に対しては自分の作業はとりあえず置いておいても面倒を見てあげるようお願いいたします。

### ③常に作業の点検を

活動にあたっては、いまの作業地をどんな森にするのか、そのために必要なことは間伐か、除伐か、枝打ちか、下草刈りか。毎月必要なのか、年に数回でも良いのか、最終形をどこに置くのかをいつも考えていくことが大切です。また、個々の作業においては手作業班が動力班の下働きにならないように目配りが必要です。また新規入会者には世話役や指導力のあるベテランを配するなど疎外感を持たせないような配慮が必要です。また、年間計画を遵守するあまり活動が硬直化することがあってはなりません。十分作業が進捗していると判断した場合、計画変更し他の作業地に譲ることもありだと思えます。話し合いや調整をしながら柔軟に対処していきましょう。

④新規加入の方や参加を中止されている方々に森林ボランティアに参加をされた動機は様々だと思います。“社会貢献活動に参加したい” “山仕事に興味があった” “新しい仲間を作りたいかった” “体力がまだあるしボケたくないから” など、動機は何であれ最初の思いを是非持ち続けてください。何から何までお膳立てされているわけではありませんし、戸惑うこともあると思います。しかし、ボランティアとは自分から進んで行動をする、ということです。また、一二度参加されてその後参加を躊躇（ちゅうちょ）されている方々も是非気後れせず、最初の気持ちを思い起こしてください。数回参加をしないとつい、億劫になりがちですがクラブはいつでも歓迎しています。

活動記録 (2024年12月・2025年1月・2月)

月日	曜日	フィールド	内容	参加数
12月1日	日曜日	ときがわの森	枝打ち・間伐	11
12月7日	土曜日	黒山の森	除伐・間伐	9
12月8日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	10
12月14日	土曜日	笠幡の森	笹刈り・整理	13
12月15日	日曜日	くるみ小屋	林内整備・餅つき	14
12月18日	水曜日	越生町	梅園小間伐指導現地確認	4
1月3日	金曜日	くるみ小屋	安全祈願ほか	9
1月4日	土曜日	緑の森博物館	安全祈願ほか	12
1月11日	土曜日	笠幡の森	笹刈り・整理	中止
1月11日	土曜日	早稲田大学所沢キャンパス	緑の森博物館保全活用協議会あり方検討会	2
1月12日	日曜日	越生ふれあいの里山	安全祈願・見回りほか	13
1月15日	水曜日	越生町	梅園小間伐指導	10
1月19日	日曜日	くるみ小屋	つる切・除伐	11
1月25日	土曜日	江戸屋弘東園	落ち葉掃き	15
2月9日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	14
2月9日	日曜日	さいたま市浦和区	刈払機取扱作業研修会	5
2月16日	日曜日	くるみ小屋	除伐	6
2月23日	日曜日	緑の森博物館	間伐・除伐	11
2月24日	月曜日	寄居風布の森	間伐	10

自然のたより(67) なんじゃもんじゃの木

「なんじゃもんじゃの木」という言葉を聞いたことはありますか。ヒトツバタゴという木のことで、他にもニレ、イヌザクラ、ボダイジュなどもそうよばれることがあります。特徴はどれも木全体が真っ白になるほど花に覆われることです。このあたりでの自生はほとんど見ることはないですが、鶴が島市の太田ヶ谷運動公園に6本植栽されています。5月になると真っ白な集散花序をたわわにつけます。

ヒトツバタゴはモクセイ科ヒトツバタゴ属ですが、この仲間には木製バットの素材として有名な「アオダモ」があります。アオダモは越生や川越あたりでも雑木林に自生しているのが5月頃、真っ白な花に覆われて気づくことがあります。アオダモは材が緻密で強く、しなやかで家具、運動用具に使われ、中でも野球のバットには最高の素材とのこと。イチロー選手のバットで有名になりました、しかし、成長が遅く成木になるのに60年以上かかり、素材が枯渇しそうで「アオダモ資源育成の会」などが活動しているようです。

〈No. 647 賀登 環 川越市〉



ヒトツバタゴ インターネットより



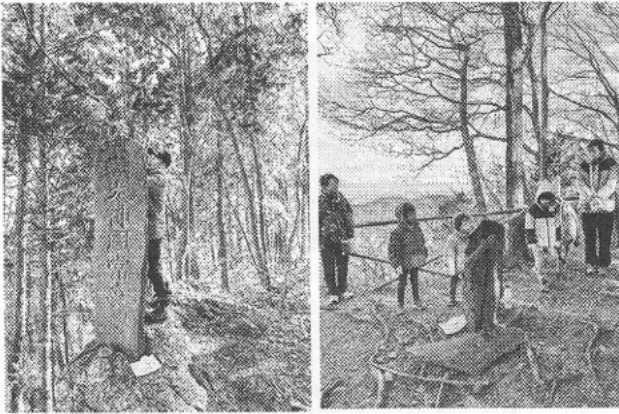
アオダモ 川越の雑木林



あおだも育成会 インターネットより

■安全祈願

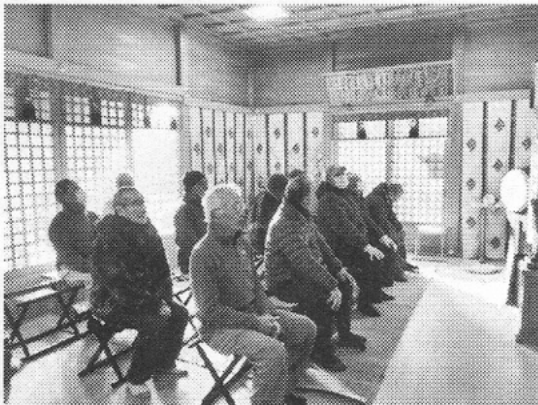
1月3日(金) 神川町「クルマ小屋」



1月4日(土) 入間市「緑の森博物館」



博物館近くの糞谷八幡神社で行なわれました。



1月12日(日) 越生町「越生ふれあいの里山」



参加メンバー12名で活動実施。まずは今年の活動が事故無く行えるよう安全祈願に参加メンバー全員で行いました。1月15日に控えた梅園小学校間伐体験準備として参加メンバーのうち7名が現場移動。残り5名がフィールド内状況確認を兼ねて散策しました。雲は多くまだ寒い中でしたが安全祈願も行え今年の活動も無事にすめられる事でしょう。

〈越生ふれあいの里山担当No.784 平井崇詞 狭山市〉

■1月15日(水) 越生町梅園小学校林業体験支援活動

梅園小学校では植樹や間伐体験を通して森林を守り育てることの大切さを理解する活動を長年続けております。今年も昨年の植栽木のツル切りや除伐に続き同じ5年生12名が間伐体験に取り組みました。開会式で川越農林振興センターやクラブ員からの講義を受けた後昨年同様、中学校の裏山に移動し3班に別れて間伐に取り組みました。初めての手鋸で最初はぎこちなかったが次第に何とか様になってきました。力を合わせてロープで木を引き倒し、枝払いなどの作業を通して林業の大変さを実感したようです。ささやかな体験ではありますが、子供達の頭の隅に少しでも森林の大切さが残ってくれば支援のし甲斐があるというものです。

〈No.668 霜触 賢 川越市〉

※当日の様子は次ページで紹介します。

梅園小林业体験の様子



■1月25日(土) 三芳町「江戸屋弘東園での活動」

一昨年この地域の「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が世界農業遺産に登録されたと言う事で今回の参加者数は昨年を大きく上回り総数90名でした。クラブ員の参加は15名。地元のボランティア団体の方75名でした。クラブ員の役目は雑木林から堆肥場までの運搬でした。平地林での活動はクラブ員にとりそれ程多くはありませんが幅広い緑を守る活動として意味があると思っています。 <No.654 沢田 正 川越市>



落ち葉を掃く



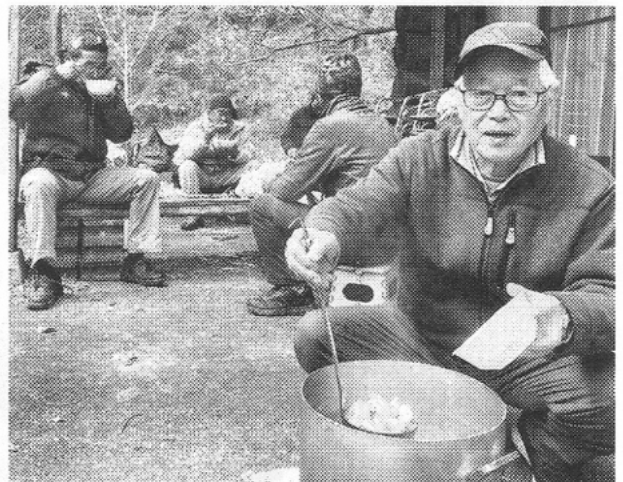
落ち葉を堆肥場に運ぶ



作業後の雑木林

■2月24日(月・祝) 寄居町「風布の森」

10名の参加で、大変寒い中間伐を実施。風布のみかん山は事前の下見で道路の凍結はないとの連絡をいただいていたので、安心して登ることができた。今日の活動は3班で、1班は若手精鋭部隊で、今まで残っていた急斜面の間伐を行い、2班は最後に残った手つかずの植栽地を見て回り、一部間伐を実施。3班はチェーンソー講習を実施。最近山作業の死亡事故が多発しているの、十分注意して作業するよう注意喚起を行った。ランチはいつものように浦高のログハウスの前で、今日は豚汁の差し入れがあり、一時は雪が舞う中、身体の芯から温まることができた。寒い中参加していただき大変ありがとうございました。 <No.522 岡田豊国 東松山市>



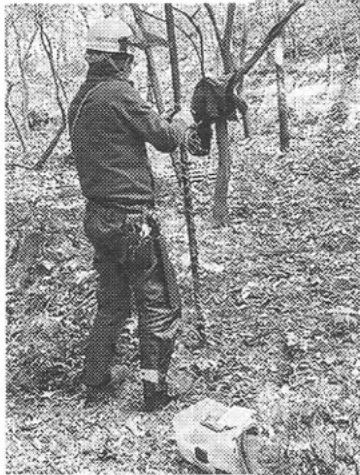
## 越生ふれあいの里山活動（越生町）

■1月12日（日）安全祈願 越生ふれあいの里山  
近くの虚空像尊へ参拝

■2月9日（日）

E地区奥にある以前行われた植樹エリアのネット外しを行いました。

ネット外し作業は今回で2回目、あと数回作業としては必要な状況です。今回は谷側・山側の二手に分かれて作業をすすめ、ネットとポールはハイカーの邪魔にならないよう現地に片付け。ネットの一部は持ち帰り処分といたしました。ポールの地面への差し込みがしっかりされており、抜く作業がかなり大変な状況。設置当時しっかりした作業が出来ていたことがうかがえました。



〈越生ふれあいの里山担当No.784 平井崇詞  
狭山市〉

## 緑の森活動（入間市 緑の森博物館）

■1月4日  
（土）安全祈願

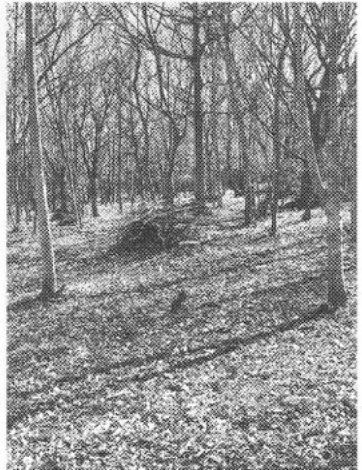
毎年恒例の新年安全祈願を糎谷八幡神社にて行った。寒い中12名の参加があり、神社での神事後、緑の森博物館の案内所まで活動地を散策した。



■1月11日（土）さいたま緑の森博物館保全活用協議会の今後のあり方を考える検討会  
緑の森博物館近隣の早稲田大学所沢キャンパスにて、例年の協働作業に替えて、協議会のあゆみ、現状、課題等について検討会が開かれた。当会からは会長と緑の森博物館での活動世話役が出席した。

■2月23日（日）林内整備

動力参加8名、手作業参加3名、計11名の参加であった。新年初作業で、昨年綺麗に下草を刈り落ち枝等を片付けていた東側の茶畑上方〜ドングリ植樹地の林内整備を続けた。動力参加の方にも手鋸での作業をお願いし、株立ちになっている樹木の整理・伐採や枯れ枝、支障枝を除去した。片付けが進み見通しは大変良くなっているが、そろそろ樹木の間引きや密度管理が必要ではとの意見があった。



■3月1日（土）さいたま緑の森博物館保全活用協議会

緑の森博物館で活動するボランティア団体が参加し、今年度の活動状況、来年度の活動予定などについて意見交換した。また、1月の検討会を受けて今後の活動について来年度の課題とする提案があった。

〈緑の森博物館担当 No.768 武藤光盛〉

## シリーズ 薪ストーブの魅力と暮らし

## 第48話『薪ストーブで調理』

薪ストーブでは色々な調理が楽しめます。天板の上では、鍋を載せてコトコト長時間の煮込み料理やパンをトーストしたり干物をあぶったり、ヤカンを載せておけばいつでもお湯が沸いていて加湿用に鍋に水を入れておけば常時加湿器にもなります。炉の中では、火が勢いよく燃えている時には野菜や肉などの食材をホイルに包んで隅に置いておくと良い塩梅で焼き上がり、熾火になった時には五徳と網を使って肉や魚、おにぎりやお餅を直火で焼いたり、プレートやホイルを使えばピザやリンゴなども香ばしく焼けます。あるいは、直接炉の中に小型のダッチオーブンを入れればどんな調理も可能で、常にその場で熱々の料理が食べられて、火を使う過程は五感で味わうことができます。

〈No.30 木島 浩 寄居町〉



## 会員発言

体に異変がみつかり、前職を辞め、引きこもりにならないよう当クラブに入会して7年。入会前は、林業まがいのことをするとは思っていませんでしたが、現在ときがわの森（ヒノキ人工林）の世話役をしています。痛感したことは、日本は世界で最も「木の国」と呼ぶにふさわしい国だと思います。しかし、急傾斜な地形、多雨な気候の下、1本/1坪で植栽し、70～80%間伐するやり方は、還暦を過ぎた身に過酷だけでなく、産業として成り立たせるには、とてつもなく難儀なことだと想像がつくということです。改善に向け、森づくりの方法・運搬方法等、様々な試みがされているようですが、花粉症対策含め、専門の方に期待する次第です。私個人は、無理せず、体を動かすことを楽しみながら、75歳まで活動するつもりです。

〈No.790 山根義之 朝霞市〉

## 森林の雑学

## —伊勢神宮 宮域林—

昨年11月に伊勢神宮に参拝する機会に恵まれ、内宮を参拝するとともに伊勢神宮の神宮宮域林（伊勢神宮が管理経営する森林）を見学することが出来ました。宮域林と呼ばれる神宮の森は、内宮の南側に位置し、内宮のほとりを流れる五十鈴川の上流に約5500haあり、一般的には「神宮林」と呼ばれています。神宮では、大正12年（1923）から将来の遷宮を見据えて、御造営用材の自給自足を目標として「神宮森林経営計画」を策定し、200年生の檜の育成に取り組み、約100年が経過した今日でもその計画に基づいて森林を経営しています。

天武天皇の御代に、20年に一度御神殿等を作り替える「式年遷宮」の制度をお定めになり、約1,300年前に第1回式年遷宮が行われ、宮域林は御用材を伐りだす山（御杉山）として定められました。御造営用材は、式年遷宮の度に自然林であった宮域林から供給していましたが、鎌倉時代後期から檜の良材が採れなくなり、近隣の山や美濃の山、更には江戸中期以降は今の長野・岐阜県の木曾の山から供給されるようになりました。そこで神宮では昔と同じように宮域林から用材を賄えるように、大正12年（1923）に檜の人工林を計画的に育てていくこととし、間伐を繰り返しながら、200年で目標とする直径1mを超える檜が育成できるよう取り組んでいます。御用材は今後とも木曾の山からの供給に頼らざるを得ないが、2013年の第62回式年遷宮においては、宮域林からの間伐材を2割程度使用することが出来ました。鎌倉中期以降供給が途絶えて以来、七百年振りの一部復活となりました。今後は遷宮の回を重ねるごとに自給率を上昇させたいとのことであり、御用材は一部宇治橋の橋脚に用いるケヤキ材を除き、全てヒノキ材であり、1回の遷宮に本数で約1万4,000本の素材が必要とされ、これらの材は胸高直径60cm前後の立木が主体を占めるが、胸高直径100cmを超える材も30本程度必要である。そのため、林齢200年程度まで間伐を繰り返し、ヒノキのha当たり本数は100本程度、胸高直径は大樹候補樹で100cm以上を、これ以外の樹で60cm以上を目標としている。



成長が期待できる檜にはペンキで印が付けられる

〈No.660 小室正人 さいたま市〉

## 事務局からのお知らせ他

◇みどりの募金に御協力ください

5月4日(みどりの日)街頭で『みどりの募金』

JR北朝霞駅付近 8時30分集合

◇通常総会の開催

6月14日(土) 埼玉会館3C会議室

研修会14時から、総会15時からです。

別途通知予定です。

◇新活動地「腰越の森」の活動開始

「腰越の森」の森林整備サポート協定を森林所有者と締結しました。場所は、小川町大字腰越後山2335外で、小川町立大河小学校の北側に位置しています。

活動内容は、森林内の灌木等の除伐になります。多くの方が活動できる場所ですので、皆さんの参加をお願いします。初回は4月29日(火・祝)を予定しています。

◇令和7年度会費納入・寄付金のお願い

令和7年度会費納入をお済みでない方は、郵便振込をお願いします。

また、クラブの会計がひっ迫しており歳出超過が見込まれています。

会員の皆様には御寄付もお願いいたします。

口座番号 00120-2-407239

加入者名 NPO法人埼玉森林サポータークラブ

年会費 3千円 寄付金 任意

◇会報について

令和7年度は、これまで年4回会報を発行してまいりましたが、郵便料金の値上げ等により、年3回にしたいと思っております。よろしくお願いします。

### 【森林の話 森林の防風機能】

森林の防風機能は私たちの生活にとって大事な役割です。防風効果を期待して整備された森林は、保安林の種類で言うと防風保安林・飛砂防備保安林・潮害防備保安林・防雪保安林などがあります。海から陸に吹く風を緩和する、砂の飛散を防ぐ、潮風による塩害を防ぐことから、海岸線の松林を思い浮かべる方も多いためです。気比の松原、三保の松原や東日本大震災前の岩手県の高田松原など名勝地となるところも数多くあります。しかしながら、この松林も昭和50～60年代には全国的に「松くい虫」による松枯れが多く見られましたが、その後の造林等によりより多くの森林が復活しつつあります。

また、東日本大震災で被災した岩手県・宮城県・福島県でも、今まさに復興させています。

当クラブが支援して造成している日遊協共生の森も10年生以上となり5～6mになっているところもあります。

さて、防風林の効果については風の流れを変えまた風速を弱めることであると言われていません。一般的には樹高の3倍程度(30～50m)の幅で造成しますが3列程度(10m)の幅でも効果が期待できると言われています。防風効果は風下側に樹高の20倍以上に見込めると言われています。

埼玉県のような内陸にも防風林があります。関東平野の広大な農地には冬の期間に北西から「関東の空っ風」とか「赤城おろし」などと呼ばれる強風が吹きます。その強風から農地や屋敷を守るため、帯状に森林を設け防風林が造られています。

防風林として造成された森林でなくても防風効果が期待できますので、平地の森林を減らしたくないものです。

(No.719玉熊英一 さいたま市)



### ■入会のご案内

私達の活動は、多くの人々のご協力によって支えられています。ご賛同・ご支援を宜しくお願いします。

- ・入会金：個人 2,000円／団体 10,000円
- ・年会費：個人 3,000円／団体 10,000円
- ・賛助会員：年会費一口 5,000円

### 編集後記

前回で100号を迎えましたが毎回の号に載せられた活動以外に更に多くの活動が行われていたこと、その参加人数が非常に多い数になることは改めて驚かされます。活動参加から18年になりますがとても早く感じています、様々な体験、経験をさせてもらいました。これからも邪魔にならないよう参加したいと思います。

(No.646 梶田 力 坂戸市)

# 活動スケジュール (2025年4月・5月・6月・7月・8月・9月)

月日	曜日	フィールド	活動内容	集合場所
4月6日	日	ときがわの森	間伐、枝打(手)枝打、機)間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
4月13日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐(手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
4月20日	日	くるみ小屋	除伐(手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
4月26日	土	高谷の森	下草刈り・林内整備(手)、機)共	小川町高谷2737-5
4月27日	日	緑の森博物館	下草刈り・林内整備(手)、機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
4月29日	火	腰越の森	除伐(手)、機)共	小川町大字腰越字後山2335
5月3日	土	笠幡の森	笹刈り(手)枝条整理、機)刈払	川越市笠幡1953 林内通路脇
5月4日	土	北朝霞駅前	緑の募金活動(街頭募金)	北朝霞駅前
5月6日	火	高谷の森	下草刈り・林内整備(手)、機)共	小川町高谷2737-5
5月10日	土	第1回理事会	理事会	浦和コミュニティセンター第10集会室
5月11日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐(手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
5月17日	土	越生ふれあいの里山	オークネット活動支援	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
5月18日	日	くるみ小屋	記念行事(くるみ工房作品展)	神川町上阿久原 くるみ小屋
5月25日	日	秩父ミュージックパーク	全国植樹祭	
5月31日	土	鷹ノ巣の森	竹篠除去(手)、機)共	小川町鷹巣680
6月1日	日	腰越の森	除伐(手)、機)共	小川町大字腰越字後山2335
6月7日	土	笠幡の森	笹刈り(手)枝条整理、機)刈払	川越市笠幡1953 林内通路脇
6月8日	日	越生ふれあいの里山	除伐(手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
6月14日	土	さいたま市	通常総会	
6月15日	日	くるみ小屋	下草刈り(手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
6月21日	土	寄居風布の森	間伐(手)、機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
6月22日	日	緑の森博物館	下草刈り・林内整備(手)、機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
6月29日	日	龍ヶ谷の森	下草刈り(手)、機)共	越生町大字大満257大満農村広場
7月5日	土	桶川加納屋敷林	林内整備(手)竹除伐、機)下草刈り	桶川市加納436
7月6日	日	カタクリの里	下草刈り(手)、機)共	神泉カタクリの里
7月13日	日	越生ふれあいの里山	除伐(手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
7月19日	土	寄居風布の森	間伐(手)、機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
7月20日	日	くるみ小屋	水道メンテナンス	神川町上阿久原 くるみ小屋
7月21日	月	腰越の森	除伐(手)、機)共	小川町大字腰越字後山2335
7月26日	土	鴻巣赤城屋敷林	林内整備(手)竹除伐、機)下草刈り	鴻巣市赤城765
7月27日	日	緑の森博物館	下草刈り・林内整備(手)、機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
8月3日	日	寄居風布の森	間伐(手)、機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
8月17日	日	くるみ小屋	下草刈り(手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
9月7日	日	カタクリの里	下草刈り(手)、機)共	神泉カタクリの里
9月13日	土	笠幡の森	笹刈り(手)枝条整理、機)刈払	川越市笠幡1953 林内通路脇
9月14日	日	越生ふれあいの里山	間伐(手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
9月15日	月	浄国寺の森	外周下草刈り(手)、機)共	さいたま市岩槻区加倉1-25-1
9月20日	土	鷹ノ巣の森	竹篠除去(手)、機)共	小川町鷹巣680
9月21日	日	くるみ小屋	下草刈り(手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
9月21日	日	宝登山の森	下草刈り(手)、機)共	宝登山ロープウェイ駐車場の下
9月23日	火	腰越の森	除伐(手)、機)共	小川町大字腰越字後山2335
9月27日	土	鴻巣赤城屋敷林	林内整備(手)竹除伐、機)下草刈り	鴻巣市赤城765
9月28日	日	緑の森博物館	下草刈り・林内整備(手)、機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館

※活動予定は、中止や変更することがあります。その節は一斉メールにてお知らせいたします。締め切り後に参加する時や、申込んだが当日欠席する時は事務局まで連絡を！直前の当日欠席は世話役まで連絡を！

※集合時間は8時30分です。支度をして集合して下さい。

## 拠点フィールドのご案内

### ■越生ふれあいの里山(越生町)

毎月第2日曜日活動(担当:平井崇詞・鈴木久代・樽石亜由美・菊池修一郎)

### ■クルミ小屋(神川町)

毎月第3日曜日活動(担当:香取由美・嘉村和也)

### ■緑の森博物館(入間市)

毎月第4日曜日活動(担当:武藤光盛・岡田 了)

## 埼玉森林サポータークラブ・コミュニケーション・ニュース 2025年4月1日発行

■発行:特定非営利活動法人(NPO法人)  
埼玉森林サポータークラブ

■発行責任者:霜触 賢 ■編集リーダー:沢田 正

■編集スタッフ:木島 浩・北村 博・梶田 カ・小室 正人・利根川雅実・香取由美・樽石亜由美・菅家征史・小坂博美・菅谷 榮・平井崇詞・藤井俊文・玉熊英一

■事務局:〒330-0063埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-9 農林会館B1 TEL. 048-814-2770

<事務局開設日:月・水・金>10時~15時

■事務局メールアドレス  
info@shinrin-supporter.org

■ホームページアドレス  
http://www.shinrin-supporter.org/